

※在宅当番医は変更が多々ありますので、当日の新聞（筑豊版）でご確認ください。

【総合体育館開催】★ウォーキング教室（9:50～11:20）★ソフトエアロ教室（13:40～15:10）★健康体操教室（13:40～15:10）

1 月

- 1** (日) 【当番医】宮嶋外科内科医院
☎ 22・1477（飯塚市忠隈）
歯科当番医（9:00～13:00）
田中陽一歯科医院
☎ 28・5480（飯塚市弁分）
- 2** (月) 【当番医】永芳医院
☎ 72・0294（飯塚市阿恵）
歯科当番医（9:00～13:00）
松尾歯科医院
☎ 57・0072（嘉麻市大隈）
- 3** (火) 【当番医】西園内科クリニック
☎ 24・9308（飯塚市小正）
歯科当番医（9:00～13:00）
津川歯科医院
☎ 25・1193（飯塚市相田）
- 8** (日) 【当番医】青柳医院
☎ 65・0013（桂川町土師）
桂川町消防出初式
7:00（予定）～桂川小学校運動場
桂川町成人式
11:00～（受付）住民センター
- 9** (月) 【当番医】あそう内科クリニック
☎ 29・1666（飯塚市楽市）
- 10** (火) 母子健康手帳発行とお話
10:30～11:30 総合福祉センター
健康相談
13:30～14:30 総合福祉センター
- 11** (水) わんぱく教室（おやつ）
10:30～11:30 総合福祉センター
補聴器定期相談
13:00～14:00 総合福祉センター
- 12** (木) 心配ごと相談
13:00～16:00 総合福祉センター
- 13** (金) もうすぐ赤ちゃんこんにちは
10:15～10:30（受付）総合福祉センター
★健康体操教室

- 15** (日) 【当番医】塚本クリニック
☎ 72・4388（飯塚市平塚）
- 17** (火) ★ウォーキング教室
- 18** (水) 3歳児健診
13:15～14:00（受付）総合福祉センター
★ソフトエアロ教室
- 20** (金) ★健康体操教室
- 22** (日) 【当番医】上村皮ふ科・形成外科
☎ 22・2973（飯塚市忠隈）
- 23** (月) 大腸がん検診容器配布・
マンモグラフィ・前立腺がん申込受付開始
9:00～16:00 総合福祉センター
- 24** (火) ★ウォーキング教室
- 25** (水) ★ソフトエアロ教室
- 26** (木) 心配ごと相談
13:00～16:00 総合福祉センター
- 27** (金) 大腸がん検診容器配布・
マンモグラフィ・前立腺がん申込受付締切
9:00～16:00 総合福祉センター
★健康体操教室
- 28** (土) ふるさと講座「嘉穂郡の歴史」シリーズ(3)
講師：貝嶋亮三氏
13:30～15:30 コダイム王塚
- 29** (日) 【当番医】清永整形外科医院
☎ 22・3440（飯塚市堀池）
- 30** (月) ピョピョ教室
10:30～11:30 総合福祉センター

- 31** (火) 乳児健診（受付は対象月齢によって異なります）
総合福祉センター
ブックスタート・フォローアップブック
スタート（町立図書館主催事業）
上記乳児健診時に読み聞かせし、絵本2冊を配布
★ウォーキング教室

2 月

- 1** (水) わんぱく教室（あそび）
10:30～11:30 総合福祉センター
★ソフトエアロ教室
- 3** (金) ★健康体操教室
- 5** (日) 【当番医】なかおクリニック
☎ 21・5755（飯塚市堀池）
- 6** (月) 母子健康手帳発行とお話
10:30～11:30 総合福祉センター
- 7** (火) ★ウォーキング教室
- 8** (水) 補聴器定期相談
13:00～14:00 総合福祉センター
★ソフトエアロ教室
- 9** (木) 胃・大腸・肺・子宮・乳がん・前立腺がん検診
8:30～11:00 総合福祉センター
心配ごと相談
13:00～16:00 総合福祉センター
- 10** (金) ★健康体操教室
- 11** (土) 【当番医】宮嶋耳鼻咽喉科
☎ 28・3347（飯塚市南尾）
- 12** (日) 【当番医】永芳医院
☎ 72・0294（飯塚市阿恵）

「冬よ／僕に來い 僕に來い／僕は冬の力、冬は僕の餌食だ」（以下略）これは「冬が来た」という詩の一節です。困難や厳しさを受け入れる気持ちの強さと、生きることの運命を楽しんでいるかのように思えます。

ともすれば、経済的な物欲が優先する現代社会の中で、便利さを追い求める価値観との違いを感じさせられます。今年の干支は「辰（竜）」です。竜のように雄々しい年でありますように。

桂川町長 井上利一

▽高村山荘 それは岩手県花巻市街から随分離れた山の麓にありました。木立に囲まれた一軒家で、15畳ほどの小さな家の中は板張りの居間と土間があり、居間の周囲には本や日用品を置く棚が造られ、見るからに質素で、とても巨匠が暮らしたとは思えない有様でした。

彫刻家であり詩人である高村光太郎が妻・智恵子を失くした後、一人で自炊しながら7年間過ごしたこの小屋は「高村山荘」と呼ばれています。近くにある記念館は雪が深いため、12月中旬から3月までは閉館になるそうです。

光太郎は、自ら厳しい自然の中に身を置き、精神的な昇華を成し得たと評されています。その真髓を思い返すことはとてもできませんが、自分の中で、何かが一瞬はじけるような感覚を味わうことができました。

